

暮らすように楽しむ

東栄町のじかん

Vol.8
2022

本郷エリア まるとま合同会社



木村圭太さん(右)と澤井慶さん(左)。二人のストーリーは田んぼから始まった。

キャッチフレーズは「キミと〇〇！」

2022年春、本郷地区に「himitsu kitchen 結むすび」をオープン。運営する「まるとま合同会社」は、豊田市で育ち長崎県で勤めていた木村さんと浜松市在住で建築士として仕事をしていた澤井さんのふたりが東栄町で出会い、田んぼで米を作ることから始まった。店では注文を受けて握るおにぎりが食べられるほか、コンビニも利用できるカフェとして、また貸し切りでイベントや地域の会の場として活用されている。空き物件を澤井さんと主簿でリノベした店舗は明るく開放的で、まちの商業地区にあり、ふらりと訪れやすい店舗。早速気さくなまちな人々が代わる代わるの顔を出し、地域に仲間入りした若者たちの世話をうれしそうに焼く光景が微笑ましく印象的だ。

project DATA

未来の東栄町 ひとりひとりの付き合いを深め、人と人との関係を大切にすまちなち！
カフェ利用できる店舗「himitsu kitchen 結むすび」ではおにぎりやドリンクを販売。2階はドミトリ形式で宿泊もできる。
住所／東栄町本郷南万場3-12
営業／水～土曜 10時～16時 (他貸切等別途対応)
tel.0536-88-5005



自分たちで育てたお米を使って握るおにぎりは、塩にもこだわり、おいしい。イトイン&テイクアウトの両方OK。



地域の仲間と集う
アソビ場を作る
助け合う

東栄流 ローカルプロジェクト

まちが持つ可能性を広げながら、
まちの元気と楽しさを生み出していく！

若者層に聞いてみました

未来の東栄町 あなたが理想に思う
未来の東栄町はどんなまち？

下田エリア 大千瀬でらす(108プロジェクト)



キッチンカーも来る飲食ブース。

井澤彰裕さん(右端)と運営仲間。女性の視点でアイデアをくれる女性メンバーたちの存在が心強い。

予約すれば丸舟遊びも。

川のあるまちの新しいライフスタイル
普段は東京に住む井澤さんが故郷の東栄町を盛り上げるべく「拠点型」で活動を起こし、イベントの企画運営を担う「108プロジェクト」を立ち上げ、その環として夏の期間限定で地元仲間と共に、東栄浄水公園エリアで川遊びスポット「大千瀬でらす」を運営する。利き鮎コンテストで日本を獲ったこともある東栄の清流をまちの資産と捉え、川を舞台にした遊び方、川のある新たな田舎の暮らし方を発信している。
「大千瀬でらす」では、川で好きなだけ泳ぐのはもちろん、川に入らずとも川辺で涼を楽しむなど、家族や友達とのグループ客、女性客、年配客などそれぞれの過ごし方ができる川辺サイト作りを目指している。飲食ブースには地元産素材を使った屋台が設置される他、週末中心にキッチンカーも出店し、食の楽しみも提供。カーキャンプサイトも好評で、予約も順調に埋まっている。
2年目を迎える「大千瀬でらす」は東栄の魅力を引き起こす。町外の人々を呼び込むだけでなく、町内の人々にまちの可能性を伝え、動きをとなげていくことで、故郷のまちが暮らしやすい田舎になっていくことを井澤さんは願っている。

小さなチャレンジを応援！



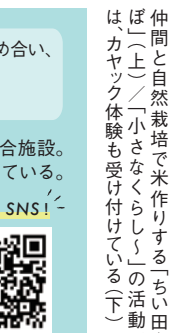
代表の松平靖史さんと家族。道具もある園庭では、いつでも自由に遊んでOK。

下田エリア datte (旧下川保育園)

「だれだれって、なんだっけっていつからだっけってやってみようってやってみようって」のコンセプトのもと、ひとりひとりの小さなチャレンジを応援する場として2022年より始動したdatte。園庭を町から借り受け、大人も子どもも遊べるアンビームを目指してリノベーションが始まった。運営する松平さんは2017年に東栄に移住し、「小さな暮らしとソートアップ」を主軸に「森のようちえん」や不耕起冬期湛水の田んぼなどで、自分たちの生き方を表現してきた。これまでも自由に遊んでOK。

project DATA

未来の東栄町 いろんな生き方を認め合い、多様性を受け入れるクリエイティブなまち！
旧保育園をリノベーションし、新たな集い場として活用する複合施設。レンタルスペースとしても利用可能。テナントの募集もしている。「小さなチャレンジ」を応援し、「やってみよう」を実現できる場だ。
住所／東栄町下田平井42-1
営業日と時間はSNSで告知(他貸切等別途対応)
tel.090-7955-0185



園庭やベント利用も上「草木染め」や「草花染め」が人気。
仲間と自然栽培で米作りする「い田んぼ」は、カヤック体験も受け付けている。

東栄町のじかん

編集・発行／東栄町観光まちづくり協会
企画・取材・原稿・撮影／マルカイ デザイン制作・監修／星原真央美
住所／〒449-0206 東栄町下田軒山13-7
お問い合わせ／0536-76-1780(水曜定休日)
発行日／2022年7月28日
※本誌に掲載されている情報は2022年7月28日現在のものです。
観光情報はホームページをご覧ください。 東栄町のじかん 検索

「東栄を応援したい」サポーター募集中!

東栄町観光まちづくり協会は、観光まちづくり事業を通じて、魅力あるまちを未来へつなげていくために活動しています。そんな活動に賛同し、応援いただける会員様を募集しています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

会費 1口年額1,000円以上
賛助会員 1口以上 正会員 2口以上

Pick up スポット!

廃校になった木造小学校に、カフェや手作りコスメ体験などが入った複合施設。夏は校庭で2頭のヤギがモグモグと草を食べ、エコな除草をがんばっていますよ。

フォローしてね♪
Instagram
東栄町体験交流館のき山学校

花まりの湯

天然温泉 花まつりの湯
北設楽郡東栄町下田花田21 TEL:0536-77-0268
営業時間 平日10:00-20:00(19:00最終受付) 土日祝10:00-21:00(20:00最終受付) 定休日/水曜日(祝日の場合は営業)

とうえい健康の館

北設楽郡東栄町下田花田22-1 TEL:0536-77-2525
とうえい健康の館

Café のつきい

NPO法人でへのきやま学校
ドリンク各種 390円
ケーキセット 650円
食事メニュー 学校給食セット 1000円
TEL:0536-76-1722 カフェのつきい

三河オートビレッジ

全サイト電源付きのオートキャンプ場
〒449-0211 東栄町中設楽 地内
TEL:0536-76-1688 FAX:0536-76-1568

東宝苑

夏のおすすめメニュー
・牛ひつまぶし定食 1,500円(税込)
・トロピカルアイスティー 330円(税込)
TEL:0536-76-1151

大崎屋旅館

御宿泊1泊2食付7500円
TEL:0536-76-0046

※コロナウイルス感染防止対策の関係により、営業時間等は変動する場合があります。施設・店舗が提供する最新情報をご確認ください。

THIS IS TOEI-CHO 知ってほしい、東栄町のこと



草木染め チェンソーアート
まゆ花 プラスバンド
弓道 テニス

小さな山間のまちの日常に溶け込んだ数々の習い事

東栄町では毎年11月に文化祭が開催され、住民の人たちが手がけた作品が体育館に展示されます。町の代表的な工芸品であるまゆ花をはじめ、木工、草木染め、ドライフラワー、キルト、人形、布小物、絵画、写真、書道、短歌等々、たくさんの作品が一同に会した様子は、過疎の山間の小さなまちに暮らす住民の日常が文化的な時間とともにあることを伝えてくれます。

またには教育委員会が管轄する「東栄町文化協会」という組織があります。設立当初は30を越える団体で組織されていましたが、まちの人口減少が進み、現在は7団体ほどに。まちの文化的な活動の刷新を目指す同協会では、令和4年度、茶道の会を主宰する堂地さんが新たに会長に就任されました。東栄町の暮らし文化と習い事について、堂地さんにお話を聞いてみました。



東栄町ってどんなところ？という疑問と興味に応えて、東栄町を深掘りしてお伝えするシリーズ。町内の人も町外の人でもぜひ、東栄町の“なるほど！”を見つけてください。



先人たちの活動が生きるよう協力し合い、文化をつなぐ

現在、東栄町で行われている文化活動や習い事として、文化協会に所属する茶道、短歌、絵画、写真、踊り、読み聞かせ、郷土巡りの会、他、同じく教育委員会が管轄する生涯学習プログラムとして、和楽器、プラスバンド、コーラス、ミニ弓道、生花の活動に参加することが出来ます。その他、個々の活動や集まりもありますので、人口3000人に満たないまちに、非常に多くの趣味や習い事の選択の幅があります。東栄町には花祭をはじめとする数々の伝統行事もあり、ここで暮らす日頃から文化的な体験が豊かです。時間が長いのではないのでしょうか。こういった活動は大事なコミュニケーションの場であるとともに、体験を通して豊かな感性を育んだり、自分磨きにも、長年の活動にはお年寄りの方々の知恵や引き継がれてきた伝統の技も折り返し、文化を通じて世代の橋渡しが行われていくことも田舎を支える大事な流れです。

若い人たちが楽しみながら、まちに新しい風を吹かせて

堂地さんは、教員を務めていたご主人の赴任に伴い、東栄町を出て7年間を常滑市で過ごし、現在は「東栄に戻ってきたまぢ」に、子どもたちが遊ぶ公園や児童館がないことに悩みます。役場に何度も足を運び、子育て環境の改善を働きかけました。このときに結成した子育てサークル「たんぽぽの会」

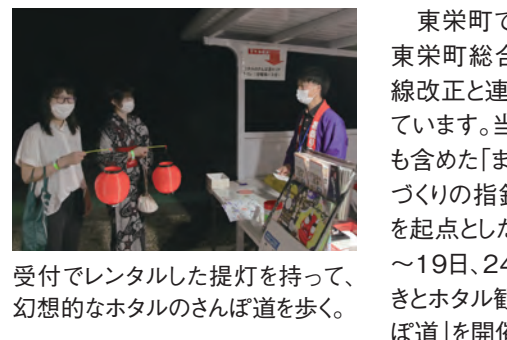
35年経った今も若いお母さんたちに活動が引き継がれています

堂地さんは生涯学習で茶道を教えるなど、子どもたちへの教育活動にも熱心。お茶を練習する席では、今はどんな花が咲いているか今の季節に何を感ずるかといった会話が子どもたちと交わられます。茶道を通して、子どもたちに礼を学び自然を感じる心を育てていこうと、子どもたちへ自然に向き合いながら育てていくことで、大人になっても東栄を思い出し、という想いを持っているそうです。自身も東栄に生まれ育ち、このまちが好きだと言う堂地さん。都会でもら、田舎は地域を支えるにはひとりひとりが関わることが重要で、自分も行動する側になることを心がけているとのこと。

子どもたちが次の東栄町を考える世代へと育っていくことを楽しみに、茶道を通じて伝統や文化を引き継ぐ活動をしながら、「若い人たちにはどんどん、まちに新しい風を吹かせてほしい」と願っているそうです。

REPORT 東栄町観光まちづくり協会の活動報告

歩いて楽しいまちづくり～ホテルのさんぽ道を開催しました



東栄町では、行政運営の基本となる「第6次東栄町総合計画後期計画」で、町営バスの路線改正と運動した「歩けるまちなかづくり」を掲げています。当施策において、利益を生むイベントも含めた「まちなかターミナルの構築」を観光まちづくりの指針としています。そんなまちなかエリアを起点とした新しいイベントの形として、6月17日～19日、24日～26日の2週間にわたり、まち歩きとホテル観賞をお楽しみいただく「ホテルのさんぽ道」を開催しました。

コロナウイルス等の状況により3年ぶりの開催となった今年は、商工会青年部と連携し、観賞エリア内の旧商店街沿いに出店が立ち並び「108マーケット」も開催。2019年から取り組み始めた「歩いてまちをめぐるイベントスタイル」をよりパワーアップし、まちの皆さんが楽しんで参加できる企画を目指しました。結果として、多くの住民の方や町外からのお客さんが集まり、来場者は6日間で合計約2,300人を記録。会場エリア近隣の飲食店や108マーケット出店ブースは売り切れが続出するなど、まちへの経済効果を実感しました。たくさんのお客さんに越しいただき、近隣・地域の方々にはご苦労をおかけした部分もあるかと思いますが、ご協力いただき誠にありがとうございました。今後もホテルだけでなく、まちの資源や地域の力を活かした持続可能なイベントのあり方を皆さんと一緒に模索していきたいと思ひます。



まちの NEW SPOT

かつての印刷所が惣菜やパンの店として生まれ変わり、新たなまちの社交の場に

かつて家業の印刷所だった場所を改装し、2022年5月に店舗をオープン。元々、「小麦くらぶ」は伊藤旨子(よしこ)さんが17年前に始め、当時できたばかりのとうえい温泉でパンを販売。さらに娘の岡田絵理さんと共に、ケーキや季節の惣菜などレシピに工夫や改良を加えながら商品の幅を広げていったそう。特に、牛乳を使ったココのあるシフォンケーキはかつてはお二人も通ったのきやま学校(現在は廃校)内にあるカフェの定番メニューにも。旨子の読み方から「ウマコのシフォンケーキ」と名付けられ、人気はさらに拡大中だ。店には、希少なホホ飯(蜂の子の炊き込み飯、冬季)など季節の郷土料理や田舎の素材で懐かしい味を買い求めにお客が次々と訪れ、旨子さんとのお話も楽しんでいく。和やかな様子は、ちょっとしたまちの社交場といった雰囲気だ。



小麦くらぶ こむぎくらぶ

住所/東栄町下田市場32-5
営業/水～金曜 10時～16時
TEL/0536-76-0103

いろいろな種類がありますよ！

(右)上/右下 惣菜や漬物やパン、ジャムなども 左上 絵理さんによる 己畫の作品 左下 故郷の味「ホホ飯」

datte Plant Studio

「やってみないとわからない」
おうちで育てる植物を、
datteの中にある草木染めスタジオ
で、草木染め体験、染料植物園、etc.

東栄町下田井42-1 営業はSNSでご確認ください

豊川信用金庫

当金庫や地域の情報をお伝えします

かわしんLINE

北設楽郡東栄町本郷二丁目25-2
営業時間/11:30～14:00、17:00～20:00(L.O.19:30)
定休/日・火・水曜日 TEL/0536-76-1453

※コロナウイルス感染防止対策の関係により、営業時間等は変動する場合があります。施設・店舗が提供する最新情報をご確認ください。

暮らしと仕事の応援制度

移住 空き家 起業

全国でも注目を浴びる移住先としても魅力ある東栄町

「田舎暮らしをしたい。移住を考えているけれど、どう動いたらよいか分からない。愛知県の奥、山間地域にある東栄町ですが、移住先として注目されているのをご存知ですか？人口約2,900人、65歳以上が半分以上を占める高齢過疎の小さなまち東栄町は、移住支援を政策に掲げ、空き家バンク制度の整備や起業・就労支援に力を入れています。実際に町の制度を利用して移住した人々、移住後に起業した人々の実績は著しく、全国の大学や移住政策関連機関もたびたびサーチに訪れるほど。花祭といった独特な伝統文化や山間地域の暮らしを守り支える地元の人々に、移住やUターンした人々が持ち込み動きが加わり、東栄町は新しい風の

comment

空き家の紹介・立ち会いなどから、地域や子育てのことなど何でもお伝えします。移住者仲間からも気軽に話を聞くことができますので、参考になりますよ。田舎暮らしが気になる方、気軽にお問い合わせください！

東栄町役場総務課 大崎 真貴さん

東栄町にUターン・移住する。東栄町に暮らす。東栄町で就労・起業する。新たなスタートをサポートしてくれるまちの制度や、心強い担当者からのコメントを紹介します！

comment

人口が少ないということを利用して、お一人お一人に対して丁寧なフォローアップさせていただきます。未経験を含めた新規事業者さんも東栄町で想いを形にするお手伝いをさせていただきます。

東栄町役場経済課 中野 隼人さん

吹くユークなまちとして世間の興味を引いています。

役場総務課には移住定住を支援する担当者もいて、気軽に相談できるのが強み。気になる空き家情報や移住までの流れ、受けられる補助金や支援などを説明してくれまます。また、まちには「移住ソムリエ」制度があり、実際に移住し暮らしている先輩たちへ、東栄での暮らしについて話を聞くこともできます。田舎は人とのつながりもあり、相談相手が見つかりやすいのも特徴。子育てを始める方、移住者仲間と新たに活動を始めたい人もいます。

comment

田舎は、人が少なく不便で寂しいのでは？というイメージを持たれがちですが、遊び場としても人気があり、土地が溢れ、人と人の関係性を大事にし、土地や建物が安く手に入る田舎は、起業のチャンスに溢れている場だとも

comment

田舎は、人が少なく不便で寂しいのでは？というイメージを持たれがちですが、遊び場としても人気があり、土地が溢れ、人と人の関係性を大事にし、土地や建物が安く手に入る田舎は、起業のチャンスに溢れている場だとも

comment

豊富な自然環境を利用して養鶏場も多い東栄町。肉質の良い名古屋コーチンを育てる「古戸養鶏場」経営者も2009年に移住。現在も商品開発など積極的に取り組んでいる。

東栄町商工会 内藤 義貴さん

主な補助金制度

起業・事業

- ◆起業家支援補助金
町の住民基本台帳に記録されている者で、5年以上継続して町内に居住し事業を行う等が条件。公的金融機関からの借入れ額の5分の1(100万上限)を補助。
- ◆特産品開発事業費補助金
町内で生産する原材料を加工した商品、町の魅力を発信できる商品の開発や販路拡大に関する補助制度。補助対象経費の2分の1(特産品の開発や改良は上限50万まで、販路拡大は上限10万まで)を支援。
- ◆小規模事業者持続化補助金
「販路開拓・生産性向上を目指した取り組みに要する経費」の一部を支援する制度。商工会がサポートし経営計画書等を作成、審査の上採択されれば所定の補助が受けられる。

移住・定住

- ◆住宅新築祝い金(定住促進支援補助金)
東栄町内に定住を目的として住宅を建設する場合に、1軒あたり30万円の補助金を交付。
- ◆移住者通勤支援補助金
東栄町に住み、近隣都市に勤める若者を対象に通勤費用の一部を補助。(補助金の一部は町内消費拡大券)
- ◆空き家活用支援補助金
東栄町に住所があり定住の意思をもって入居する際に、空き家の片付けやリフォームに対し1/2補助(上限30万円)。
- ◆若者定住支援補助金
東栄町に入居した時点で40歳以下の人、東栄町の中学校以上の学校を卒業し引き続き東栄町に居住する人への定住支援。

Toei Life Style

こんな人こんな場所

奥さまの京子さんの実家が豊橋市にあることから、定年を待つ2017年から毎年、千葉県から東栄町へ移住した糟谷夫妻。田舎に来てまずうれしかったのは、気軽に話しかけられる地域との交流だったそう。翌年、当時町にはパン屋がなかったことから地域の人たちに背中を押されて、パン作りの趣味を活かしたパン屋を開業することになった。

好奇心旺盛で「やってみよう」が原動力 人とのつながりが広がる田舎暮らし

このように、店舗建物は、日頃から話し仲間だった地域の工務店が道具を貸すこと、地域の指導もしてくれ、自宅敷地の角にロビーで建てることに、興味があった木工仕事をプロから習いながら、こわいらしい自作のパン屋「ピッコロパン屋」が完成した。

家庭菜園の畑が広がる敷地内には元々茶畑もあり、この茶葉を使って日本茶や紅茶作りも楽しむ。また、養蜂にも挑戦。最初の3年はみつばちが巣箱に

入らず苦労も経験したが、東栄町の日本みつばちの会に誘ってもらい、今はちみつ採取することができるようになった。家の前を流れる川ではあまご釣りが名人に教授してもらいながら、試行錯誤。鮎を世話する漁協のボランティアにも参加している。鮎釣りに奮闘する様子をパン屋

ピンポイントで、田舎暮らしのさまざまな出来事などは、まじまじとフレイッシュアップして投稿し、糟谷さんの活動で生き生きとした暮らしが広がっていった。東栄は小さな田舎さんながら、達人や名人がたくましく、みな気がさくとても親切。田舎は世代を越えたつながりもあって刺激にもなるし、こうして良かつ道への人生に進んでいくかと思っています」と田舎暮らしの感想を聞かせてくれた。

釣りがや養蜂など田舎暮らしの醍醐味を満喫。奥さまと二人三脚のパン屋は朗らかなお人柄もあって町内外問わず常連客も多い。

ピンポイントで、田舎暮らしのさまざまな出来事などは、まじまじとフレイッシュアップして投稿し、糟谷さんの活動で生き生きとした暮らしが広がっていった。東栄は小さな田舎さんながら、達人や名人がたくましく、みな気がさくとても親切。田舎は世代を越えたつながりもあって刺激にもなるし、こうして良かつ道への人生に進んでいくかと思っています」と田舎暮らしの感想を聞かせてくれた。

おいしい手作りパンが **ピッコロパン屋**

営業/金・土曜 10:00～16:00 (売り切れ次第閉店)

住所/東栄町下田市場32-5
TEL/080-3471-8623

奥三河で暮らしを遊ぶ **danon**

営業/金・土曜 10:00～16:00 (売り切れ次第閉店)

住所/東栄町下田市場32-5
TEL/080-3471-8623

工務長のぞかん

国道151号沿い 日業務用材料 日個人DIY材料

キャンパ・アウトドア!!

北設楽郡東栄町東原吉土庫8
TEL: 0536-78-5015

※コロナウイルス感染防止対策の関係により、営業時間等は変動する場合があります。施設・店舗が提供する最新情報をご確認ください。